

新潟縣公民館月報

発行人
新潟縣公民館連絡協議会
新潟市医学町二 新潟県教育庁
社会教育課内 (電話 7954番)
振替口座 新潟 4094

三月 號

社会、学校教育の連絡提携

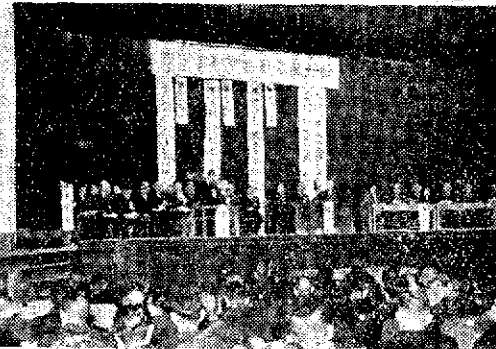
県教育振興県民大会

- ◇ 地方財政の苦しい環境の中で、各々努力を続けて来た経験や意見を持ちよつて、本県の教育の振興をはかろうと、教育に関係する県の諸団体が去る三月十五日午前十時より新潟市公会堂で「県教育振興県民大会」を開催し、いくたの成果を上げた。
- ◇ なお、この大会は今までみられなかつた新しい企画で、その意義が高く評価されている。

主催団体は県PTA協議会、県教育関係協議会、県公連、県婦人連盟、県連合青年団、婦人少年室、県地方自治防衛委、県小学校長会、県中学校長会、県高等学校教職員組合、県教職員組合などの十一団体、後援は県教委、地教委連絡協議会、新潟日報社、ラチオ新潟などの十団体の多数をかねて十時半定時に開会した。

この日参集した参加者は約一千名で、まず主催者団体を代表して県議員の和田善治氏が開会のあいさつを行い、次いで議長団に丸山直一郎(本会)、石部市五郎(P.T.A協)、小林養子(県婦人連)の三氏が選ばれ、主催者団体のあいさつ、経過報告など行われたのち分科会に入った。

分科会は三分科会にわかれ、第一分科会は「子供や青年や母親がよのよよく教養を高めるために」と題する学校教育をめぐつての分科会(会場II公会堂大ホール)第二分科会は「青年婦人の教養を高めるために」と題する社会教育を



写真は新潟市公会堂で
の教育振興県民大会

めぐつての分科会(会場II公会堂大ホール)第三分科会は「そのためにはどんな運動や組織づくりをするか」と題して学校、社会教育を総合して全体的な教育の振興を研究する分科会(会場I公会堂中ホール)にわかれ熱心に討議した。この結果第一分科会よりは①公

民教育の振興の原則のもとに教育予算の増額を要する校舎の増改築の促進②教育の定数の増加③へき地教育の振興④学校給食の完全実施⑤子供たちのために成人教育に力点を置き、環境の浄化をはかるなどが結論として出された。

第一分科会では①青年の教養を高めるには現在担当指導者、講師が不足し、財政上、施設上負荷であり、しかも青年の意欲が低落であるから、これらを解決しなければならぬ。②婦人の教養を高めるためには現今資金難、指導者の不足などが障害となっているからこれを男子と共に協力して解決しなければならぬ。③以上二つの問題は結核は公民館の振興であるから昨

日(公民館)活動主事一名を必全体討議を開き、知事(代理野村)に依頼した。なお役員改選については、町種をほかること、市町村に社教委(野村玉教)、市長(代理金井)を要請することの実現に努力し、などの祝詞があり、統一的な方針を定めた。などの意見が科会の報告、それをめぐる質疑応答を経て、この採案を継続して開会、意見発表があり、これを議長がまとめると提案がなされた。

第二分科会では①社会教育と学校教育は機会均等で行くべきで、大中獲得など多くの要請すべき百に達し、②効果的に運営して決議は協議団でとりまとめて進めたいべきである。③各団体は協同して決議は協議団で発表された。④各団体の連絡協議会をもつと共に、県ち揃って運動をはかること。⑤各団体の活動についてめなければならない。⑥採案すること、と決定された。

午後一時分科会討議を閉会にあいさつがあつて大会の幕打ちきつて再び公会堂大ホールでぞつた。

野村村長(野村玉子氏)の挨拶

全国公民館大会は東京で十月全公連評議員会開催

全国公民館連絡協議会では三月、東京都日食会館に於て開き、昭和二十九年最後の総会に於て決議したことに満場一致で可決した。午後一時の協議員会を閉する事も可決した。公民館月報は今まで全日本社会教育連合会において発行していたものが、全公連の収入を増す手段として提案された。この案が協議されたことは、①公連の収入を増す手段として提案されたものである。

三十年度の予算は一般負担金、十九年度の会計の承認、②三十年、三十二年の滞納負担金、公度予算及び、事業計画、③第四回全国公民館大会の開催について、二十八、九年度の滞納負担金、公度予算及び、事業計画、④公民館民館月報による特別収入金、⑤職員改選について、⑥公民館民館月報の全公連発行について、⑦五項であった。

このうち、全国公民館大会は十

協議会開かる
県下の公共図書館協議会は十二年前十時より新潟市公民館に於て開催され、三十年度の各事業計画等を中心協議したが、随上不良出版物対策に就て意見交換が行われ、五月開催予定の全国図書館大会に本県、図書館界の意向を表明して出版浄化運動の展開に口火を切る事を申合せた。

なお市町村併合等によって公共図書館の法定機構が問題視され、県下には公共図書館を二、三名の専門職員が必要が迫られ、図書館資格取得のための講習会開催が希望されているが本県開催は九年実施すためのめざすところである。

離れているPTAと公民館

団体意識の低いPTA

◆ PTAと公民館はよく離れている。というのが一般の世であり、公民館側も、PTA側も互を理解していない所が多いのが現状の模様である。

◆ 県社会教育課では一月末から日をえらんで、当面する問題を各係ごとにも細いながら、研究会を課内で開催し、今後の資とすべく研究を続けている。

◆ PTAの問題については特に公民館との結びつきを主題として論じられた。以下その記述である。

(小野塚係員説明)

一、公民館側のPTA観
結論的にいへば、公民館とPTAは離れている。公民館は施設であり、PTAは関係団体であるわけであり、社会教育活動と社会教育面で分離している。これらを奥の立場で活動を進めて行く場合は両者を考えて行かねばならないが、私はPTAの立場から述べてみるから、公民館の方からそれについての批判をしてみたい。

二、公民館側から見て、PTAを特別なものだと見ているのが大半ではないかと思う。

三、PTA側の公民館観
PTA側の見方は、先般PTAの協議会で問題を出したところから地域においては公民館側と

一、公民館の主権の場合、集りがよくなかった時、PTAも婦人会に協力をもとめて来ている。二、年度はじめ、又は年末に話し合い、期会をもつた方がよい。三、役員の中で適当にタフらせた方がよい。四、新潟市の様に小学校区ごとに公民館をもっている所では、この点比率的うまく行っている。等であったが、ともかくPTA側から言うなら積極的に公民館と共催してよいものと、独自で開催してよいものをあらかじめ公民館と話しあいをしておくことが必要である。この点公民館の運営審議委員にはかならずPTAの代表者を入れておき、互に話あって計画を立てることが必要である。

最近、PTAも漸く公民館と離れて行こうと、いくら進歩的な考え方をもちて来ているようであるが、ともかく両者の互の理解が出来ていない様な感じがあらぬ。

子の勢が多いのはPTAだと用事が出来るのが大きな原因だと思われる。因に思う。

ことには子供に手紙を書かせるから学級、講座、講演会が公民館の事業であるならば公民館はとが、総会で子供の成績表を渡すこれを大いに利用すべきものだとがー出席しないと成績表がもらえないーなど、いろいろの面白

課内研究会



PTAと公民館

でもなかなかの盛況である。またこの様な壮年層の集りはこのほる親は極めて少ない。一、このうら面からPTAを通じて実際の学校の実状を見て理解を進めなければならぬが、こにも成人教育員とか連絡があるはずだから利用価値は大いいわねと願う。

この点新潟市の様に学校区ごとに公民館があれば、なおすべされるわけである。

又講演や、学級についての指導者の面でもほつぽつ学校の先生を利用して考え方よりも社会教育面の指導者を利用する時期に来ているのではないかと考えられるのである。

1. 学級、講座及び講演会
たしか公民館関係の雑誌を見たが、どうして集りがよいかと教育の問題が中心になるから集りやすい。

2. 読書活動
読書活動は公民館の大きな仕事の一つであるが、これには問題が沢山ある。その一つに指導が困難だという点が上げられるが、この点の解決には、指導者の面から考えて公民館とPTAとの結びつきが最も効果的であると思う。

3. 調査活動
調査活動の場合も人員、予算、技術、統計などの事務を一手にひきうけている公民館のスタッフは調査という面から見ると非常に弱いのではないかと思う。

この点PTAと、結びつくことが出来る、もっと強力な体制が出来ると、PTAは学校があり、教師があり、子供や父兄がある。

4. 成人教育
家庭の近代化——かく親である成人の実状を見て子供を教育する親は極めて少ない。一、このうら面からPTAを通じて実際の学校の実状を見て理解を進めなければならぬが、こにも成人教育員とか連絡があるはずだから利用価値は大いいわねと願う。

公民館はほつぽつという点、大きく見ればないから無理もないが、細かい実態的なことを徹底するにはPTAの組織の力は大きい。

座談

地域社会の振興、公民館活動を紹介するということなどもPTAが一番得意でないかと思ふ。(人を集めることなど)

PTAも何とかこれか本堂の目的となる様なものを見つづける努力して行かねばならないから、公民館側でも大いに協力して欲しいと思つてゐる。

司会 ではこれに対する質問なり討議なりをお願いする。

甲田 PTAの会員は両親を一会員と思ふのか、父親を一会員と思ふのか。

小野塚 会員は父親であり、他は代理という見方のところが多い。

甲田 だから会員意識が低いのではないか。

佐藤 PTAの本質から考えたら両親だろう。又近から考えると金をとると親父の名前となつて来るのではないか。

一対一の関係である。
坂爪 二人が入る場合、一人として会費を収めるといふ考え方はどうだろうか。

増井 ともかく団体であるから会員が主体なのである、それをばききさせるべきだ。ところが会費はどういう風になつてゐるか。

小野塚 生徒一人一人という様になつてゐる。

課長 まあPTAだけでは、ないことだが...例え婦人会、青年団などもまだ、会員や会費の登録制はとつてゐる。またこの辺からも社会教育団体が弱体だともいえる。

戦後の社会情勢は、青少年に種々の悪影響を及ぼしてゐるが、特に大衆向のエログロ雑誌、性典映画等の青少年に与える影響は莫大に大きく、大人には僅かな好しくない刺激も成長途上にあるティンエディヤークラスの青少年にとつては、鋭敏に感受されて精神的成長を阻害し円満な性格形成を歪曲する場合が多くまことに由々しい問題である。

る所だと思ふ。ひどいところでは一口いくらという所さえある。ところが、会費の価格はいくらになつてゐるか。

小野塚 小学校で月十円から二十円までのところが一番多い。佐藤 さきの話の続きだが、会員構成がアイマイだから、金の方を走り、いきなり奮附という形も生じて来るのではないかと高橋 会員も、役員もほとんど男子でつめられておられ、PTAの会員にしてくれと婦人が申込んで入れてくれない所もあるという話もある。こんなところがまたまはという感があるが...

この防止対策としては、児童福祉審議会、防犯組、出版、販売業者、映画合、その他地域に於ける興行者等の自衛協力を保つなければならぬが、他高めて、業者の協力を得るが、更に進んで、不買運動、映画、玩具等を発

悪い環境から青少年を守る(一)
両親や大人の関心を望む
児童福祉審議会(県民生部児童課)に通告して頂きたい。通告に基き、児童福祉法により、勸告、又は適当な処置を講ずることになつてゐる。

小野塚 いや、しかし会長になる所だと思ふ。ひどいところでは一口いくらという所さえある。ところが、会費の価格はいくらになつてゐるか。

小野塚 小学校で月十円から二十円までのところが一番多い。佐藤 さきの話の続きだが、会員構成がアイマイだから、金の方を走り、いきなり奮附という形も生じて来るのではないかと高橋 会員も、役員もほとんど男子でつめられておられ、PTAの会員にしてくれと婦人が申込んで入れてくれない所もあるという話もある。こんなところがまたまはという感があるが...

児童福祉審議会、防犯組、出版、販売業者、映画合、その他地域に於ける興行者等の自衛協力を保つなければならぬが、他高めて、業者の協力を得るが、更に進んで、不買運動、映画、玩具等を発

悪い環境から青少年を守る(一)
両親や大人の関心を望む
児童福祉審議会(県民生部児童課)に通告して頂きたい。通告に基き、児童福祉法により、勸告、又は適当な処置を講ずることになつてゐる。

小野塚 校長さんなどは案外本質的なものを知つてゐるはずだ。しかし、また親的なものではないか。だからまた後援会的なものが多いのではないだろうか。高橋 小学校、中学校に別ける。小野塚 それは小学校、中学校の方が小供に響く面が大きいからだ。

課長 岩船郡でも校長さん方がPTAがどうして社会教育関係団体だかという問題を出している。この様にやはりPTAは一般からも、その腕のものからも理解されていない有様である。

児童福祉審議会、防犯組、出版、販売業者、映画合、その他地域に於ける興行者等の自衛協力を保つなければならぬが、他高めて、業者の協力を得るが、更に進んで、不買運動、映画、玩具等を発

悪い環境から青少年を守る(一)
両親や大人の関心を望む
児童福祉審議会(県民生部児童課)に通告して頂きたい。通告に基き、児童福祉法により、勸告、又は適当な処置を講ずることになつてゐる。

甲田 たえ研究指定は出て来てわかつて、学校に届けられたい。この上は、研究指定は出て来てわかつて、学校に届けられたい。

課長 文部省でもPTAを教育関係団体をしてゐる。結核、金が主体なんだ、本質的にはやはりそこにあると思ふ。意外PTAをにきりつて、いろいろな点で先生方がゐるのではないだろうか。

木村 しかし、PTAは後援会的なものから脱すること出来な感じがする。小野塚 時期が来れば脱することと思ふ。PTAは「子供をよする団体」ではなく「子供をよくする」ということだ。

児童福祉審議会、防犯組、出版、販売業者、映画合、その他地域に於ける興行者等の自衛協力を保つなければならぬが、他高めて、業者の協力を得るが、更に進んで、不買運動、映画、玩具等を発

事務的なものだけで今の所成人教育まで行つてゐないというのが現状ではないか。

小野塚 そういつ時幻燈だけでいいから教育的に使つた方がいいと思ふのだが、...

増井 いや、変なことを云つて、或は僕もやる指導者講習会をさつくりして、地域でそのまの形でやるという様なことが今の所考えられるが、...

児童福祉審議会、防犯組、出版、販売業者、映画合、その他地域に於ける興行者等の自衛協力を保つなければならぬが、他高めて、業者の協力を得るが、更に進んで、不買運動、映画、玩具等を発

甲田 PTAに研究指定はなかつた様だがこれはどうなのだろうか。

課長 それはまあ考えられることだが、それならさつくりと反対のことをやる様だが、指導者講習会を徹底的にやつて見たらどうだろうか。

増井 いや、変なことを云つて、或は僕もやる指導者講習会をさつくりして、地域でそのまの形でやるという様なことが今の所考えられるが、...

児童福祉審議会、防犯組、出版、販売業者、映画合、その他地域に於ける興行者等の自衛協力を保つなければならぬが、他高めて、業者の協力を得るが、更に進んで、不買運動、映画、玩具等を発

ある。
これではやはりTはやはりきれなくなつて来る。——Tは今まであまり細かい面倒な仕事をやりすて来て居るのだ。……だからどうしても観念的にならざるを得なくなつて来るのだ。

増井 そのへんだ、……PTAの問題は……
結団団体という考えから行くとならぬ。PTAの会費は結局はPTAの会費に帰つて来るべきなのが当然なのである。PTAという二般団体を通つて子供、先生、会員との三者よのなっているが、このうちどれが主体なのかと考えると、一寸見ればみんな同じ様に思えて来る。

佐藤 現在すべPTAの本質をかきまはさることは出来ないことである。むしろ、そういう本質論より側面から社会学教とか、又は防犯の問題という面からつ込んで行つた方がいいのではないか。

坂爪 その協議会などは、どんな問題が出て居るのか。
小野塚 そいつは何んだがやはり論ずる問題はレベルが低いと思われ。

特に地域では先生方は発言をあまりしない。校長さんなどがいると余計発言が少ない様だ。

あるが、私の方でも同じ様に部費公民館がいふことになって居る。小さい所では全く御説と一致するが、大きい所では中学校区となつて居る。こういう所での公民館はむしろ本館としての活動を主体となつて、本館がこれを援助する様な形がいいと思われ。

増井 やばり、そういう所から見てもPTAは学校側がきつて居る現状だ。
甲田 今までPTA側から大分公民館に責任があるという様な、いふ方なのでこの辺で反駁論を出そうと思つても、小野塚さんの説明を聞いて居るとPTAの無力を公民館におおつかふせて居るが、ここでPTAから頼られる公民館自体がまた如何に無力であるかと思つて居る。

あるが、私の方でも同じ様に部費公民館がいふことになって居る。小さい所では全く御説と一致するが、大きい所では中学校区となつて居る。こういう所での公民館はむしろ本館としての活動を主体となつて、本館がこれを援助する様な形がいいと思われ。

だから、PTAと一緒に活動する方がよいと思つて居る。
甲田 また、「これは公民館の無力であり、これは専任職員が少なくて、これを専任職員を世話することが、出来にくい」といふことである。又その上に専任職員ではなくて兼任の場合には、なお技術が低いから近に無力である。公民館の専任職員委員の中にPTAをとおして居ることとはたしかにある。尙PTAが社会教育関係団体に入つて居ると思つて居ることに原因もある。

ところで感違ひして居る面もあるが、PTAが公民館に承認されて居ないといわれているが、これを逆に考えると青年団や婦人会はかならず公民館へ相談しに行くが、PTAはそういうこととは少ない。だから……

増井 公民館制からいへば、公民館が社会教育主目的の性質

格でないからPTAの会議に公民館側が出ないといふこともある。結果からいへば、調査の問題はたしかにPTAに願ひはいいが、やはり濃意があるのだと思つて居る。これは「公民館団体が使われている」といわれたことがあるからそんな情を感して居るのだと思つて居る。だから公民館側からいへば決してPTAを異端視して居るわけでもない。

増井 地域社会でも、社会教育関係団体という婦人会や青年団が来て居るが、それらのメンバーにPTAは出て居ない。こういうことが客観的にいへば、どちらに云えることだが、PTAの二番の根本問題である。

増井 公民館制からいへば、公民館が社会教育主目的の性質

格でないからPTAの会議に公民館側が出ないといふこともある。結果からいへば、調査の問題はたしかにPTAに願ひはいいが、やはり濃意があるのだと思つて居る。これは「公民館団体が使われている」といわれたことがあるからそんな情を感して居るのだと思つて居る。だから公民館側からいへば決してPTAを異端視して居るわけでもない。

増井 公民館制からいへば、公民館が社会教育主目的の性質

格でないからPTAの会議に公民館側が出ないといふこともある。結果からいへば、調査の問題はたしかにPTAに願ひはいいが、やはり濃意があるのだと思つて居る。これは「公民館団体が使われている」といわれたことがあるからそんな情を感して居るのだと思つて居る。だから公民館側からいへば決してPTAを異端視して居るわけでもない。

増井 公民館制からいへば、公民館が社会教育主目的の性質

増井 公民館制からいへば、公民館が社会教育主目的の性質

増井 公民館制からいへば、公民館が社会教育主目的の性質

増井 公民館制からいへば、公民館が社会教育主目的の性質

増井 公民館制からいへば、公民館が社会教育主目的の性質

増井 公民館制からいへば、公民館が社会教育主目的の性質

増井 公民館制からいへば、公民館が社会教育主目的の性質

白鳥三話
昨年年度の指定を受けた北浦水原町瓢湖の白鳥は去る三月十日午後六時に、二時間前迎えに来たらしい幼い白鳥と一緒に昨年より十日も早く北の空を去つて飛んで行ったが、このたびはこの白鳥を中心として三つの話で綴らうと思つた。

第一話
白鳥は非常に淫靡な鳥で、なかなか人に取れないので定評である。ところが、人から与えられたエサを喰う程になつたのは、例の吉川老人のためである。……

第二話
瓢湖には白鳥ばかりでなく、数百の鴨が一緒に泳いで居る。……

第三話
水原町の白鳥は、今年は観光バスはおろか、国鉄で、「白鳥号」を運転するほど、テンヤワヤの白鳥の錦キゲン取りに一生懸命であった。

……

……

同志しかわからないものらしい。……

……

……

……

……

……

……

……

……

……

……

……



写真Ⅱ 各級の地区代表者が校長室に集つて開かれて居る学級委員会。時計は八時半を過ぎたが、まだお開きになるケハイもない。

……

……

……

……

……

……

……

……

青年學級の問題点と在り方

猪 股 武 雄

(号外)(1)
この点について吉田昇氏は次のように言っている。
「青年學級が学校でないことを、言葉の上のみでなく、實際の上に具現してゆかねばならない。学校のように知識を一段と高い水準に持ち上げるのでなく、九年年の学校教育の成果を生活の中に生かす方法を教えることが青年學級である。学校で学習したことが社会では役に立たないということではなく、学校で得たものを實際生活に具現してゆくことを教え、実践するとこれが青年學級である」と

要するに青年學級では、青年の自主的な相互教育、自己教育が中心になるべきもので、整備された学校教育の形態をおしつけてはならないということである。
といつても青年學級は学校とは無関係であるといつてはならない。本県の青年學級が、小中学校の施設と職員との援助などとしては開設不可能であることはその実態より明らかである、今後益々協力を得なければならぬ現状である。と場合、遂に遂にその対象になる動向、学校に依存しつつ、而も学校教育の色彩を払拭してゆかねばならぬ感に、大きな悩みがあると思つてゐる。

3 青年學級と青年団体
青年學級は、青年運動には欠くべからざるものである。さればこそこれが高めよう努力すべきであつて、終戦後青年たちが自身の中からの

研究會等によつて「青年団と青年學級の関係について」という問題が討議されている。この二つが何かも別個のものであつて、お互いに競争の争ひを起しているような印象を青年たちの努力のたまものである。青年學級は地教委が開設するもの法を制定した。これ又行政当局と

青年の獲得を以て争つてゐるという状況も見られないでもない。地教委側は地域の青年の實態をなげき、何んとかもう少し活気のある青年にしてやりたいという願ひが、法の公布と結びついて學級の開設となり、青年団側は、従来自分たちの自主的な活動のグループであつた青年學級を、地教委側にとり上げられてしまつたといつた感情があるためであつたといつた。青年の学習活動展開の場である青年學級は、青年運動には欠くべからざるものである。さればこそこれを高めよう努力すべきであつて、終戦後青年たちが自身の中からの



写真 部青年団と部青年學級の一体的活動(彦根市)

青年の学習活動展開の場である青年學級は、青年運動には欠くべからざるものである。さればこそこれを高めよう努力すべきであつて、終戦後青年たちが自身の中からの

身は、無気力と思われている点があつたとしたら五分反活し、学習活動展開のための「開設申請」を積極的になすべきであらう。
青年の学習活動について、學者によつて異つた考案がある。A、申請開設を重視する。
B、運営委員會に青年団の代表を入れる。
C、指導員とか主事補佐的の制度を設け、青年団幹部を學級運営に參與させる。
D、クラブ活動「プロジェクト」活動の中に青年団幹部をリーダーとして入れる。
E、見学旅行等は、青年団と一緒に行つて。
F、男女を考へ、兎に角、青年自身が自主的に積極的に参加する。すなはち、特に兩者の行事をよく調整する工夫を考へ、青年団側は、青年の中から開設申請がでるよう啓蒙する一方、積極的に学習活動を展開する氣運を盛り上げるべきであり、運営委員會に選出された団の代表者は、団の意向を積極的に立ててやる必要がある。そして、突然的な要素を内容とするのではなく、組織的、計画的、水統的のものにならねばならない。青年団のよつた年令階級の集団内での活動にとまらず、講師が必要であり、教育計画が必要である。青年の青年學級があるために青年団が弱体化したとか、両者、板着板で

らであるが、青年學級の運営に當つて地教委側は、申請開設を重視する。
B、運営委員會に青年団の代表を入れる。
C、指導員とか主事補佐的の制度を設け、青年団幹部を學級運営に參與させる。
D、クラブ活動「プロジェクト」活動の中に青年団幹部をリーダーとして入れる。
E、見学旅行等は、青年団と一緒に行つて。
F、男女を考へ、兎に角、青年自身が自主的に積極的に参加する。すなはち、特に兩者の行事をよく調整する工夫を考へ、青年団側は、青年の中から開設申請がでるよう啓蒙する一方、積極的に学習活動を展開する氣運を盛り上げるべきであり、運営委員會に選出された団の代表者は、団の意向を積極的に立ててやる必要がある。そして、突然的な要素を内容とするのではなく、組織的、計画的、水統的のものにならねばならない。青年団のよつた年令階級の集団内での活動にとまらず、講師が必要であり、教育計画が必要である。青年の青年學級があるために青年団が弱体化したとか、両者、板着板で

▲私の花物語 壺井栄 ▲文学的回想 林房雄

壺井栄 新報社刊

春になつたという感じは、野 著者が三十余年をかけた理想のや庭に咲く花の色香で気付く。福屋と作家としての生活記録と七十年の毎日を送つてゐる途もいろいろあるが、それは又花の事な忘れ勝ちなものだ。日本の今日まで歩み来た。歴史感か淋しい事でもある。昔少の片断として極めて興味ある女少説に花物語(吉屋信子著)ものといえる。今更回顧精神をというのがある。少女達が一云々する時代ともいふであら本を手にして感慨にふけつたものが、然し日本の現状は散散とらしい。壺井栄の花物語という汚点を去るならば、本著は然し、大人の本である。三十でいふ時とその體勢に似たも心を生かす問題に浸透させてゆく。著者が青年時代を送つた頃は、老朽前も 素直な叙述といふべし所謂大正十二年の歴史を界に日きだつた。社会問題本が初つて以来のパニクににおきだつた。と直ちに固くそれた時もある。而も、社受取り取らなかつた。しかしそうした社会を著者は独特の情に 運動も分裂の姿の儘、統一の 訴え、社会正義の道は困難であり、著者は醜態に 暗否を後方に従つて 堪えかねて社会運動から足を洗 ゆく。その手法は矢 かに、大正末期の青年學生の動 向を著者の窓を透していかん 球曼沙華の花を他を押しつけ 取つてしまつて強奪と争ひの姿 から興味を引くが、問題 迷惘を信じて草花を食べて生命 を液す話、桜の木の下で酒祝の 夫の狂態に悩む妻、二つ二つを 頭味すれば人生の 抗議がホ 口苦く湧いてくる。大方の人間 材が兎も思ひ出し胸を打たれる だ。二人の異色ある人間の生き方 だ。問題の鏡方、取上げ方を学 ぶためにもすすめたい読みもの である。



「母を讀める作文」

募集集

県社会福祉協議会では、国際日である五月第二日曜の「母の日」を期して、母を讀み、母に感謝する倫理的な心を培え、教育活動普及促進の一環として県小中中学校の児童生徒より「母を讀める作文」を募集することになった。

都市公民館長会議発足 新潟公会堂で第一回会合

今まで都市における公民館活動との目的をもつて、連日三月十日日の振興を図る目的をもつて七市公館十一時より新潟市公民館において市民館長会議を開催して、共通問題として新潟市教育委員会、新潟市公民館研究協議会、又は各市の情報交換館長協議会の主催によって開催等行ってきたが、こんど町村合併によって十二市の新市の誕生を見たので、従来の七市館長会議を発展的に解消して、新しく九市を包含する「県都市公民館長連絡会議」(仮称)として再発定したい。

教育委員、教育長と共催

西蒲で郡社教研究大会

西蒲原郡では、三月廿日午前九時半より、巻小学校図書館において郡教委連絡協議会、郡教育長連教育活動を進めるには設備、備品などの様に整備したらよいか、より「郡社会教育研究大会」を開催した。

これは社会教育の振興が現下の急務である実情によって、社会教育関係者は勿論、教育委員、教育長の方々より積極的に研究協議に加わってもらい、社会教育振興上の隘路打開に資することが趣旨であって、講師には新潟日報論説委員の森田甲子三氏、県社教課長の吉川浩次氏が参加された。



写真は和氣崎々の親観念に掛ける各市公民館長の面々。分科会では「社会教育の振興にどの様な事業が必要か」「社会教育活動を進めるには設備、備品などの様に整備したらよいか」「町村における指導者の養成と配属はどうしたらよいか」の三分科会をもち、終始活潑、熱心に討論がなされた。

なお、最後の全体討議で、次の様な決議がなされ、今後の活動の指針を明らかにした。一、郡内各町村に一名以上の公民館主任を置くこと。二、郡内各町村に必ず社会教育委員を設置すること。

頃の開催予定)、④会議の運営及の関連に関する問題、「施設の充実に係る問題」などについて協議事項、協賛事務局、柏崎助業、柏崎助安、柏崎助政事務所、新潟日報社、新潟放送局の七者があたる問題、「公民館と社会教育と」

日本南画三十五名家展

北方文化博物館で春季展

中蒲原郡樺越村沢海の北方文化博物館では、江戸時代の絵画の特色をなす南画と浮世絵を、春と秋に分けて開催することになっている。春の特別展は「日本南画三十五名家展」と並び、江戸時代を連じ、大雅、燕村、玉篁、大米、竹田、文晁、華山等の一流を網羅する。

八日、十四日、玉童、高蘭、米山人、十五日、廿二日竹田文晁、樺山特別解説は国立博物館教育及日本南画鑑賞会主幹による、講演会は会期のはじめに新潟で、美術映画鑑賞は会期中日曜日に本館、計四回される。

四月十日より 「婦人週間」

柏崎で県民大会開催

昭和二十四年以來第七回をむかえる「婦人週間」は例年のごとく四月十日より一週間全国各機関と各地において開催される。本年は目標を「婦人の実力の強化」、「スロウガン」として「よのよの社会を作る力となりましょ」に決定、本県関係では来る四月十日(日曜)柏崎市第三中学校において、一般成年男女を対象として、「第七回婦人週間新潟県大会」を開催する。

主催は労働省新潟県婦人少年室、新潟県教育委員会、柏崎市教育委員会の三者で、後援として県婦人連盟、県労働事務局、柏崎助業、柏崎助安、柏崎助政事務所、新潟日報社、新潟放送局の七者があたる。

五月三日より 「児童福祉週間」 例年五月三日より五月九日までを「児童福祉週間」として中央及び地方において国民運動を展開しているが、これは児童福祉の精神に基づいて「こどもの日」(五月五日)、母の日(五月八日)を含めて五月の一週間を児童の福祉について強調しようとする週間である。



本年は例年のごとく県、県教委、県社会福祉協議会、「こどもの日」「母の日」県協議会が主催し、県青少年問題協議会が協賛して行われるが特に本年は本会も主催者に加わり、積極的な運動を展開することになった。特に本年は次の様にその日、その日を強調すべき項目を定めて集中的に普及、宣伝することにした。

- 第一日(こどもの人権を守る日)
- 第二日(こどもと母の健康の日)
- 第三日(有害な環境からこどもを守る日)
- 第四日(家庭生活を反響させる日)
- 第五日(児童福祉施設に協力する日)
- 第六日(母に感謝をささげる日)
- 第七日(世帯の子供と手をなす日)

随想



恋人の写真

打木一

「こんな写真の下手な人でも、言葉など、問題しなくなっているものだ。」もう十数年にもなる戦争中から戦後にかけて、精神的

恋人だけのまよく写すことが出来た。オマヤの写す機をいじりまにも経済的にもゆとりを持たな

写真術というものが物理学的分野のことは、いくらの心算私でも

写す理由とはならないのである。せしめる写真が出来上る。要するに問題は、写す人と写される人との情熱の交流である。

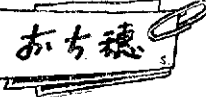
楽しい学習

岩崎照

社会学級の出席成績はいせん、であった木間さん、山口さん、中

次兼ねて報告せる研修のことで 新題では、二回の共済組合、技術

の金井、吉井公民館共に立派であると同時に、その地域の教養程



お女様 四月ともなれば春巻巻動は本

微する緑の羽根をオパーの襟、胸元の襟と、それとボケツから

新潟県公民館月報 綴込表紙 青年学級用 ☆学籍並学習記 録簿用紙 (1枚1円) ☆出席簿用紙 (1枚2円)

時事通信社発行 家庭の医学 監修 稲田 竜吉 編集 今井登志喜